

後期基本計画 令和 3年度 基本施策方針評価書

政 策 : 06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策 : 02 総合計画の推進と未来の価値の創造

主管課長職・氏名	企画政策課長 杉村 英久
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和 3年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<p>4年後における滝沢市全体の目標は総合計画の達成であり、当基本施策ではそれに向けた総合計画の全体進捗の的確な管理を行います。また、さらにその先を見据え、多様化が進む中での未来における滝沢市の価値づくりを進めます。</p>
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 総合計画を知っている人の割合 単位 %	15.4	24.4	33.4	42.4	50	50	D
			17.3	22.1	12.1	-	-	△9.5
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	62.5	65	70	75	75	C
			65.4	62.6	62	-	-	12.8
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 06020100 総合計画を軸としたマネジメントの推進 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	75.6	77.1	78.5	80	80	C
			70.6	68.8	74.7	-	-	10.2
2	暮らし 06020200 未来に向けた滝沢の価値の創造 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	79	80	80	D
			69.1	68.1	71.2	-	-	△63.0
3	暮らし 06020300 価値の創造に向けた情報の発信と活用 普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合 単位 件	49.2	50	55	58	60	60	D
			52	47.2	43.2	-	-	△55.6
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 3年度 基本施策方針評価書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：02 総合計画の推進と未来の価値の創造

主管課長職・氏名	企画政策課長 杉村 英久
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての令和 3年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 後期基本計画を軸としたマネジメントをしっかりと推進するため、意思決定及び庁内の情報共有を進めるため、庁議、政策調整報告会議、部長調整会議等の事務調整を行いました。 マネジメントを支える市民ニーズ、統計情報等の収集のため、令和元年度から引き続き市政懇談会を開催し、各地域において市民から意見聴取を行うとともに、令和3年度は市内全事業所を対象とした経済センサス活動調査を実施しました。 後期基本計画の展開戦略である「若者定住」に関しては、令和2年度から引き続き学生アルバイトを雇用し、コロナ禍においても安心して学業が継続できるよう支援を行いました。また、学生発意によるインターンシップの実施、大学の授業の一環で実施した「鷹巣子市」への学生の参画など、大学、学生、地域、企業等とのつながりづくりを支援しました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 3年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <p>総合計画のマネジメント、展開戦略の推進、次期総合計画の策定、新たな連携手法・情報発信手法の検討</p> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <p>意思決定のための事務調整を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対応についても事務事業等の調整を行いました。また、次期総合計画の策定に向け策定本部会議を設置し、基本構想等について協議を重ねました。昨年度に引き続き学生アルバイトを雇用するとともに、学生の視点から市の様々な取組やイベントをSNS等を活用しながら発信しました。</p>	

3. 基本施策の実現に向けての令和 3年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>【外部環境】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けての社会や市民の価値観、生活様式の変化</p> <p>【内部環境】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事務事業の優先順位、やり方の見直しの必要性</p> <p>【環境変化と対応の認識】</p> <p>新型コロナウイルス感染症は、人々の価値観、生活様式、仕事の仕方などに大きな変化をもたらしました。これらの変化やアフターコロナを見据えた事務事業の見直し、総合計画の進行管理が必要となってきました。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>本施策については、現状では見直しの必要はないが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、引き続き市民の価値観、生活様式の変化などを注視しながら、施策との関係性を見極めていく必要があります。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 5年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、引き続き市民の価値観、生活様式の変化などを見極めた事業実施が必要となります。</p> <p>第2次総合計画の初年度となるため、第1次総合計画の評価・検証を踏まえた事業展開が必要となります。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2次総合計画の推進のための事業展開 市長公約や将来展望に基づく事業企画、多様な主体との連携、ネットワークの構築 デジタル化の進展と多様化する市民ニーズを踏まえた市民への情報提供と情報発信のあり方の検討 	

